

令和7年度 北海道中学校体育大会 柔道大会における熱中症防止対策及び 競技進行が困難な場合における代表選手・チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【柔道大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・会場内における小まめな水分補給の注意喚起
- ・観客席等に水分補給の啓発ポスターを掲示する
- ・各チームに熱中症対策として、氷など用意してもらうよう周知する。
- ・個人戦、団体戦において試合が連続する場合は3分間休憩を入れる。
- ・冷房設備がない会場では、できる限りスポットクーラーなどを設置する。
- ・できる限り冷房設備のある会場で開催する。

● 競技が進行できない場合の代表選手・チームの選出方法

- ・熱中症指数が 31℃を越えた場合、大会を一時中断する可能性がある。また、指数が下がれば大会は再開する。再開の時間によっては、大会終了時間が予定より遅くなることがある。
- ・熱中症特別警戒アラート等が発令し、大会を中止せざるを得ない場合、北海道代表の選出は、試合を進めることができたところまでのチーム・選手から抽選し、決定する。